



東京多摩プロバスニュース

第 85 号・15 周年特集号



■事務局: 〒206-0021 東京都多摩市連光寺 3-31-3 滝川方 ■編集・発行: 広報委員会 2019. 7. 3.
■電話・FAX (042) 372-2238 ■URL: <http://www.tokyo-tama-probusclub.com>

未来のために多摩の創生、再生を!

第 179 回 定例会

日時: 令和元年 5 月 8 日(水)午後 1 時 30 分より

場所: 関戸公民館 第 2 学習室

お客様: 経営コンサルタント 大橋周治様

阿部華歌様

出席者: 23 名(会員数 26 名)

第 180 回 定例会(昼食会)

日時: 令和元年 6 月 5 日(水)午前 12 時 00 分より

場所: 木曾路(多摩ニュータウン店)

出席者: 22 名(会員数 26 名)

理念

1. 豊かな人生経験を生かし地域社会に奉仕する
2. 活力ある高齢社会を創造する
3. 会員同士の交流と意欲の向上をはかる
4. 非政治的、非宗教的、非営利的であることとする



ごあいさつ



「15 年間の軌跡を留めて、未来への発展を」

令和元年 5 月に東京多摩プロバスクラブは創立 15 周年の佳節をむかえました。様々な多くの関係の皆様方の応援と支援を頂きこの日を迎えることができました。心から感謝申し上げます。

創立 10 周年からの 5 年間の主な活動を報告申し上げます。

①上高地への一泊研修では、腰痛の方も杖歩行の方も心臓に疾患のある方も参加者全員が明神池までの 3 時間歩行に成功しました。会員の長時間歩行はこれが最後の機会となりました。②観光バスを貸し切り、鎌倉プロバスクラブを訪問しました。楽しく有意義な交流となりました。鎌倉の観光案内もして頂きました。生憎と大暴風雨、ずぶ濡れの大仏見学は生涯忘れることはないでしょう。③多摩プロバスフェアを開催し、多摩プロバスの理念や歴史、活動記録を写真等でパネル展示をしました。場所は京王桜ヶ丘 SC の連絡橋です。5 日間で 1 万 3700 余人が来場されました。多摩市民 10 人に 1 人がプロバスに触れて頂いたことになりました。

澤雄二会長



15 周年の今年、新しい活動がありました。赤い羽根、歳末助け合いの両募金で会員が初めて街頭に立ちました。多摩市の資産で歴史的価値の高い 8 台の自動演奏楽器を「置く場所がない」との理由で寄付しようとしたことに対して反対の署名運動を応援しました。



電車見橋; 諏訪 4 丁目と多摩東公園・武道館等を結ぶ橋で、その下を京王相模原線と小田急多摩線が走っています。

今年度の福祉大会で当クラブが「地域福祉功労団体」として初めて表彰されました。

長年続いた二つの活動、一つは 14 年間続いた「中学生俳句大会」、もう一つは古澤靖雄会員が 12 年間続けて来られた小学校での「そろばん出前授業」が無くなったのは極めて残念です。

最後にこの 5 年間で大切な 5 人の仲間を失いました。岡野一馬、稲田興、平田哲郎、倉賀野武士、西村政晃の各会員心からご冥福を祈り、プロバスクラブ発展の志を継承する決意です。

◆◆◆ 幹事・委員会報告 ◆◆◆

1. 幹事報告

鈴木泰弘幹事

- 1) 会員構成(敬称略) 令和元年年7月1日現在
会員:25名 内休会員3名(大澤亘、所敏行、中村昭夫)
会友:5名(青木ひとみ、池田寛、瀬尾日出男、永島仁、蓮池守一)
- 2) 東京多摩ロータリークラブ創立50周年記念式典
5月11日(土)、16:00より京王プラザホテル多摩にて開催され、当クラブから澤雄二会長、鈴木泰弘幹事、滝川益男研修・親睦委員長、中村昭夫地域奉仕委員長、登坂征一郎会員、秋山正仁会員の6名が出席。
- 3) 東京八王子プロバスクラブ生涯学習サロン閉講式
第23回学習サロン閉講式が5月9日(木)八王子エルシィで開催、当クラブから澤会長、鈴木(泰)幹事2名が参加。
- 4) 創立15周年記念式典を5月22日(水)にパルテノン多摩にて開催。ご来賓:阿部裕行多摩市長他28名。

詳細P3参照

2. 委員会報告

2.1. 総務委員会

小池博委員長

- 1)5月;15周年記念行事を成功裏に進めるため研修・親睦

委員会と協力して活動した。

- 2)6月;次期総務委員会に引き継ぐべく打ち合わせを繰り返し総会に向けての準備を行った。

2.2. 研修・親睦委員会

滝川益男委員長

- 1)6月22日(土)観鯊会は雨天で中止。
- 2)7月3日(水)総会終了後、恒例の懇親会を開催予定。会場は京王クラブ、会費は4,000円。

2.3. 地域奉仕委員会

上田清副委員長

- 1)今期の委員会は、主に多摩寺子屋塾の創設に向けて検討を重ねその結果を取りまとめて先般の理事会及び定例会に報告を行なった。次期の委員会では講座内容の具体化を図り、可能であれば年度内に数講座を開講する予定である。
- 2)創立15周年の記念事業として「市民企画講座」を開催する予定であったが、都合により5月22日の記念式典の中で、高村弘毅会員による記念講演を実施した。

2.4. 広報委員会

北村克彦委員長

- 1)プロバスニュース第85号は15周年特集号として7月3日(水)の発行予定
- 2)ホームページ更新は7月5日の予定

◆◆◆ 講 話 ◆◆◆

テーマ「人生百年時代の到来」は、永年日本能率協会で経営コンサルタントとして活躍されてきた、筆者の高校同期の大橋周治氏が、昨年11月の同期会「ボケ華研究会」で、「オレの80歳」と銘打って話されたもので、2、3年前から介護の資格を取り始め、今は介護士資格取得の実習と猛勉強中、この人生百年時代をどう生きるかという話題に感動。当クラブの講話として快諾頂いたものです。紙面の関係で講話内容を2回に分け後半を次号に掲載します。(登坂征一郎会員記)

「人生百年時代の到来」

経営コンサルタント 大橋周治氏



○初めに;大橋周治氏は、昭和32年高校卒業直後、当時最年少で公認会計士の資格を取り、その後、日本能率協会に入社され、500余の企業の経営のコンサルタントに携わり、平成13年常務で定年退職、その後もライオンズクラブでネパール・アフガニスタン等に学校施設寄付・募金活動を展開、現在も数社の取締役・経営顧問に従事。その傍ら数年前からケアマネジャー資格取得に挑戦しています。

○経営コンサルタントとして

コンサルタントは資格ではなく実力の世界で、人間性、能力、判断力等とお相手の相性がピタッと合って、タイミングがピタッとあって更に打つ手がヒットすれば大成功。

45年前に伊藤雅俊社長と組んでイトーヨーカ堂の将来について、本社機構、人事評価や商品開発などについてどうするか仕組み作りにかかわったことが、コンサルタントとして実力になったと、示された伊藤社長との写真を、私の宝物ですと大橋氏は感謝を込めて紹介された。また、セブン銀行の設立には学校の先輩や後輩の人脈で当時難題であった銀行設立の陰の力になったとのこと。

○介護の世界へのチャレンジ;81歳には人生百年という

あと約20年足らず。高齢化社会が来て自分もその一人。介護の世界は玉石混淆の業者が雨後の筍のように蠢いて、本来の介護のあるべき姿が見えてこない。これを質していくのが使命と考え、ゴルフ三昧の日常から大きく介護の世界に飛び込んだとのこと。

○まず手始めに、「私のシニア時代の足どり」として、これまでの人生を横軸に年齢、縦軸に仕事・健康・家族と友人・ボランティア・趣味・社会経済情勢などを、年代順にやってきたこと、これからやることなどを一覧表にまとめる。これができるこれからやろうとする、あるいはやるべき目標をはっきりと見えてくる。皆さん各自のこの表を作って、家族や身近な人にみせて、家族や周りからサポートも得ながら、これからの目標に向かうことができます。

○なぜ介護士か? 8千余の老人ホームがあり、本来の介護と健全経営の実現を目指す。人口の2、3割の3千万人を高齢者が占めるようになり、これらの人達が自律型の発想に転換をし、その2割の700万人が認知症に罹るといわれ、その予防につなげることが不可欠である。80歳以上の年間健康保険の負担は約百万円と言われており、健康な高齢者が増えれば社会貢献へとつながる。この世界に身を投じ、年間50の老人ホームを修行行脚し、5年後にはケアマネジャー資格を得て健全経営へと変革をし、介護士から生活支援者へと……が目標。<この続きは;次号に掲載>

◇◇◇ 15周年記念式典・祝賀会 ◇◇◇

五月晴れの好日、5月22日(水)にパルテノン多摩にて、28名の来賓のご出席を仰ぎ、創立15周年記念式典と祝賀会が開催されました。澤会長の開会挨拶に引き続き多摩市長をはじめ3名のご来賓から祝辞を賜った後、当クラブの15年のあゆみを紹介しました。増山敏夫会員が「多摩プロバスクラブと私」のテーマで思い出を語りました。記念講演では、高村弘毅会員が「21世紀の課題、地球温暖化の狭間で都市の水環境を考える」テーマで水環境の課題を語りました。澤会長の閉会挨拶・点鐘で無事式典は終了。祝賀会に移りました。



開会挨拶 澤雄二会長 増山敏夫会員思い出語る 15周年の活動報告



来賓出席者 28名；多摩市役所阿部市長他1名・東京多摩RC飯島会長他2名・全日本プロバス協議会古賀会長他1名・東京八王子PC馬場会長他3名・東京日野PC奥会長他3名・横濱PC松下事務局長他3名・埼玉浮き城PC鴨田幹事他3名・鎌倉PC正親会長・相模原東RC佐藤会長・多摩市各種団体3名

記念講演 高村弘毅会員

21世紀の課題
地球温暖化の狭間で
都市の水環境を考える
東京多摩プロバスクラブ創立15周年記念講演



来賓祝辞



多摩市長 阿部裕行様 東京多摩ロータリー クラブ会長 飯島文彦様 全日本プロバス協議会 会長 古賀靖子様

祝賀会



開演の言葉 鈴木達夫会員 来賓祝辞 東京八王子PC会長 馬場征彦様 乾杯 東京日野PC会長 奥修兵様

打上げ・写真



次に向けて、全員による記念写真 (多摩市中央公園の池の端にて)



ご歓談中



閉宴の言葉 山田正司会員



歌と演奏(シンガーソングライター) カツルミさん

多摩市長

東京多摩プロバスクラブ創立 15 周年おめでとうございます。皆様の日頃のご活躍に敬意を表します。

多摩市は、健康寿命が東京都保健所方式によれば、男 83 歳、女 86 歳で、男性の 83 歳は東京都では No. 1、女性は現在 2 位です。

多摩ニュータウンが誕生し、高度経済成長を支えてきた皆さんが 75 歳の後期高齢者の仲間入りをされてきましたが、一人暮らしの方が増えております。

100 歳以上の方で共通している事は、食べ物に好き嫌いが無い、肉がお好きな方が多い事、アルコールを少し嗜まれる方が多いという事、それと、本や雑誌、新聞をお読みになっている方が多いという事です。

新聞を読む、本や雑誌を読むという事は、脳の活性化、認知症予防に意味があります。

5月、健康まちづくりシンポジウムを多摩市で開催し、そこに千葉大学の近藤克則先生をお招きしました。昨年のNHKスペシャルで「AIに聞いてみた。どうすんのよ！ニッポン」のシリーズの中で、健康寿命の番組がありました。そこで近藤先生が全国の30世帯以上のご高齢の方を含め、あらゆる方がどういう形で日々生活をしているのか、そのエビデンス(証拠、根拠)をAI(コンピューター)で調べました。どうしたら長く健康で長く生きられるのか。食に気を付けること。体を動かすこと。本や雑誌を読むことです。

全国都道府県の健康寿命を厚生労働省方式で調べてみると、山梨県がトップ。山梨県は日本で一番図書館が多い。そして図書館に来られる方が非常に多い。これは本や雑誌を読むという事と、図書館に通われるという事で歩かれる、本を借りてきて、本を読んで行動に移される。例えば料理の本を読めば実際に作ってみる、料理をしようとして品揃えをするというようなアクティブな行動をとっているということが分る。

健康寿命がトップの土地というのは、本や雑誌を読む人が多い、一人暮らしが多い、地域が安心安全な場所であること。こうしたことがエビデンスによって浮かび上がってきた。

プロバスクラブ 15 周年に当たって申し上げたいことは、この三つのエビデンスが、実はすべて多摩市が当てはまるということです。図書館でいえば、15 万人規模の都市の中では、本のリクエスト、貸出は多摩市がトップ。東京都の郊外都市である多摩市は、急激な高齢化が進んで、一人暮らしの方も多い。もう一つ安心安全な面でもトップに顔を出している。

多摩プロバスクラブが色々な活動に取り組まれていることが認知症予防につながる、健康寿命のトップを生み出し

阿部裕行



ているというふうに勝手に推測させていただき 15 周年に当たって披露させていただきました。

多摩ロータリークラブ会長

飯島文彦

多摩プロバスクラブの 15 年前の設立時の資料をみると、2020 年には多摩市の人口の 3 人に一人が高齢者になるのではないかとと言われていました。



そんな状況の中にあって、ロータリークラブとしても多摩市の高齢化を考え、多摩ロータリークラブの創立 35 周年の記念事業として、東京多摩プロバスクラブを設立させていただきました。実際、昨年の 10 月、多摩市の人口は約 14 万 9 千人ですが、その中で 65 歳以上の高齢者が約 4 万 2 千人、パーセンテージにして約 28%、3.57 人に一人という事で高齢化が進んでいるわけです。15 年前に渡辺幸子市長が、式典で述べられていましたが、高齢化は暗いことではない、これからは皆様方の知恵と経験を活かして多摩市で活躍していく、そういう時代が来るというお話しをしておられました。まさにこの 15 年間、東京多摩プロバスクラブの皆様方は、それを実践されてきたのではないかと思います。今後とも皆様の知恵と経験を活かしてますます元気に活躍して頂いて、これからの高齢者の方々も取り入れて素晴らしい多摩市になるようご活躍下さい。

全日本プロバス協議会会長

古賀靖子

東京多摩プロバスクラブは、現在、会員の皆様一丸となって多摩市の創生・再生を掲げられて地域社会への貢献と会員相互の親睦をモットーとして活躍されていることはプロバスニュースを通して承知しています。特に、近隣のプロバスクラブと交流して、懇親を深められていることは、全日本プロバスのお手本ではないかと思っております。



令和 3 年には多摩市は市制 50 周年を迎えられますが、これを契機に活力と総合力にあふれた更なる発展に向かわれることを祈念いたします。

昨年 11 月に第 8 回全国プロバス協議会の総会が開かれ、執行部が北九州にバトンタッチされました。理事が全国に 20 数名いますが、実りある情報の交換をしていこうということで、持ち回り理事会、電子メールの活用で効率的に進めていこうと思っています。

全日本プロバス協議会の「ひろば」第 1 号を今年の 1 月に出しました。大きな反響がありました。3 月 1 日付で全日本プロバス協議会ニュース No. 1 を出しましたが、これも年に 2~3 回出していこうと思っています。

今後とも全日本プロバス協議会へのお力添えをお願いいたします。

第11期 (2014年7月～2015年6月)

「多摩の地域文化を育てよう」 山田正司会長

先の大戦後の多摩村は、市政への移行とほぼ同時期の、昭和46年の多摩ニュータウン初入居以来、人口構成が一新しました。新住民となった私たちには、武蔵の国から引き継がれた歴史や文化を踏まえて、新たな地域文化を育てる責務があると考えました。プロバス会員には、すでに各分野で主要な立場でのご活躍をされています。クラブとしてそれをサポートしつつ、さらに新たな活動も生まれれば良いと考えました。ESD活動や中学生俳句一次選考、初の郷土かるたづくりも成し遂げましたので、胸をはって第11期のスローガンとしました。その後も会員の多少の変動はありましたが、皆さんの不断のご努力により、スローガンは進化を続けていると考えます。多摩プロバスクラブは今や、このままの存続にこそ意義があると思っています。すべての会員が当クラブを「愛おしむ気持ち」を持ち続けていただきたいものです。

第12期 (2015年7月～2016年6月)

「ふるさと多摩を若い人たちと共に」 神谷真一会長

高齢化が進む中、無理をせず若い人達に継いでいく方針の下、活動に取り組んだ。

第2回プロバスフェアを開催した。京王デパート5階のブリッジギャラリーの展示会場で、当プロバスクラブの活動紹介と会員の作品を展示した。併せて、カルタ、お茶、江戸しぐさ、具合合わせといった日本の伝統文化を一般市民に体験して頂いた。

対外交流活動として、東京八王子PC、東京日野PC、埼玉浮き城PCの各創立記念行事に合わせて交流を深めた。

会員の研修・親睦として、近郊の社会見学や、山梨県でのリニア走行試験の視察旅行、九十九里浜への一泊の研修親睦旅行を実施した。

更に、小学校への出前授業として、そろばん教室や、礼法講座を実施した。また、多摩市中学生俳句大会では、応募作品の選考や、多摩プロバスクラブ賞贈呈で協力した。

第13期 (2016年7月～2017年6月)

「豊かなキャリアをこの街に活かそう！」

倉賀野武士会長

基本目標として掲げたクラブ会員の増強では2名の増員、他団体との連携では多摩ロータリークラブやワールドキャンパス多摩などへの支援、他のプロバスとの交流親睦では八王子・日野、浮き城・鎌倉プロバス、全日本プロバス等への参加、当クラブ会員の親睦活動でも委員会やサークルによる事業などを例年どおり実施するとともに大相撲見学なども行なって、一定の成果を得ることができた。

また、従来から次期役員を選考するにあたっては有識者会議と推薦委員会を経て候補者を決定してきたが、この重

層的な方式から「理事会のみで決定する方式」に改める会則の改正を行ない実行した。

残された今後の課題としては、会員の抜本的な増強対策の検討、地域奉仕活動の一層の充実等がある。

(倉賀野武士会長が2018年11月に逝去されたため、報告は上田清幹事)

第14期 (2017年7月～2018年6月)

「ホームタウン多摩で楽しもう！」 西村政晃会長

地域社会への奉仕に努めるとともに、定例会や研修旅行などで会員の親睦と相互啓発を図り、クラブを楽しむことを基本目標とした。

① 小学校でのそろばん教室や江戸しぐさなどの出前授業や各種会合でのパッキングの実演などを実施した。

② 八王子、日野の新年会などの交流、東日本プロバスクラブで活動報告を行う。多摩ロータリークラブとの交流や多摩市中学生俳句大会の選考に参加し、東京多摩プロバスクラブ賞を贈呈した。ワールドキャンパス(WCT)の交流会に参加し、永山公民館ロビーに「多摩プロバスかるた」の拡大版を展示した。

③ 今期は、4カ月余りの間に、岡野一馬、稲田興、平田哲郎の3会員が相次いで亡くなられた。

(西村政晃会長が2019年2月に逝去されたため、報告は澤雄二副会長)

第15期 (2018年7月～2019年6月)

「未来のために多摩の創生、再生を！」 澤雄二会長

多摩市の未来が危ない。多摩地区全域で住宅地価が上昇しているのに、多摩市だけが下落しているのである。

ふるさと多摩を、子や孫に継承するために、市民の生活を守るためにこのスローガンを掲げた。

パルテノン多摩が所有し、世界的にも希少価値の高い8台の自動演奏器を置く場所がないとの理由で寄付しようとしたことに反対の署名運動に参加した。プロバスとして初めての街頭募金に立った。福祉大会で多摩プロバスクラブが地域福祉功労団体として表彰された。

澤会員が三田会総会で「未来のために多摩の創生、再生を」と題して記念講演をし、多くの賛同者を得た。

多摩プロバスクラブ創立15周年事業は、「山椒は小粒でもピリリと辛い」。全会員の努力と英知で素晴らしい式典が開催された。

多摩市中学生俳句大会とそろばん出前授業の二つの活動が幕を下ろした。極めて残念。

4人の新しい会員を迎え入れることが出来た。

倉賀野武士、西村政晃の二人の会員が逝去された。心からご冥福を祈ります。

◇◇◇ 「卓話」・「講話」のあゆみ(1) ◇◇◇

相互の研鑽、あるいは自己啓発を目的に、定例会の中で会員各々が培ってきた知識や体験を話す卓話を盛り込んでいます。第121回定例会からの卓話や講話及び座談会のテーマは次の通りです。第1回定例会から第120回定例会までの卓話・講話は5周年と10周年記念誌に掲載しているので割愛します。

第11期 平成26年度(2014/7~2015/6)

◇平成26年(2014年)

- 7/2 第121回定例会卓話「多摩かるたアラカルト」山田正司・大澤亘両会員
- 8/6 第122回定例会卓話「わが人生を語る」秋山正仁会員
3分間スピーチ「江戸しぐさ-1」滝川道子会員
- 9/3 第123回定例会卓話「多摩丘陵の水環境について」高村弘毅会員、3分間スピーチ「江戸しぐさ-2」滝川道子会員
- 10/1 第124回定例会昼食会「プロバスクラブを楽しむには」で懇談
- 11/5 第125回定例会講話「健幸都市多摩を目指して」、多摩市長阿部裕行氏、3分間スピーチ「江戸しぐさ-3」滝川道子会員
- 12/3 第126回定例会卓話「南無阿彌陀仏・俊乗坊重源」増山敏夫会員、3分間スピーチ「家庭菜園の勧め」西村政晃会員

◇平成27年(2015年)

- 1/7 第127回定例会新春プロバスかるた大会、3分間スピーチ「知って得するテレビニュース」澤雄二会員
- 2/4 第128回定例会卓話「ミツバチ多摩ちゃんの世界」上田清会員、3分間スピーチ「知って得するテレビニュースあれこれ」澤雄二会員
- 3/4 第129回定例会卓話「当クラブの主な活動をDVD放映で振り返る-1」平田哲郎会員、3分間スピーチ「持病との付き合い」永田宗義会員
- 4/1 第130回定例会「今、古典芸能がオモシロイ!」青木ひとみ会員、3分間スピーチ「孤独死を防ぐ高齢者の生き方」中村昭夫会員
- 5/13 第131回定例会卓話「当クラブの主な活動をDVD放映で振り返る-2」平田哲郎会員、3分間スピーチ「校歌について」鈴木泰弘会員
- 6/3 第132回定例会卓話「衣更えと落とし文」阪東熙子会員

第12期 平成27年度(2015/7~2016/6)

◇平成27年(2015年)

- 7/1 第133回定例会卓話「台湾人の偉人“八田與一”」稲田興会員、3分間スピーチ「ああ、ホールインワン」増山敏夫会員

- 8/5 第134回定例会卓話「興味深い隣国『韓国』」西村政晃会員、3分間スピーチ「知って得するテレビニュースあれこれ-夜討ち、朝駆け」澤雄二会員
- 9/2 第135回定例会卓話「ペルシア淵源のアクア文化伝播ロードを訪ねて」高村弘毅会員、3分間スピーチ「コンチネンタル・タンゴ アルフレッド・ハウゼ・オーケストラ来日演奏の前に魅力を探る」村上伸茲会員
- 10/7 第136回定例会卓話「テレビが新聞を超えた日・ニュース革命はこうして始まった」澤雄二会員、3分間スピーチ「モノクロからカラー写真」堀内陽二会員
- 11/4 第137回定例会講話「明るい未来への分岐点に立つ多摩ニュータウン」明星大学工学部西浦定継教授
- 12/2 第138回交換卓話「プロバスと共に」埼玉浮き城PC須郷隆会長

◇平成28年(2016年)

- 1/6 第139回定例会卓話「旅の話」岡野一馬会員
- 2/3 第140回定例会卓話「日本の木と建築の知恵」増山敏夫会員
- 3/2 第141回定例会講話「関戸合戦~その史実と伝承~」多摩市文化振興財団 橋場万里子氏
- 4/6 第142回定例会卓話「世界から見た日本・日本人への評価」中村昭夫会員
- 5/11 第143回定例会講話「多摩第二小学校での発掘調査について」多摩市教育委員会教育振興課石塚宇紀氏
- 6/1 第144回定例会昼食会「次期新委員会毎に」座談会

第13期 平成28年度(2016/7~2017/6)

◇平成28年(2016年)

- 7/6 第145回定例会卓話「富士山はいつ噴火するか」大澤亘会員
- 8/3 第146回定例会ワールドキャンパス多摩で多摩プロバスかるた展示/紹介/かるた取り会倉賀野武士会長
- 9/7 第147回定例会講話「多摩中央警察署管内における犯罪発生状況と対策」多摩中央警察署本田英樹課長
- 10/5 第148回定例会ミニ卓話「秋はスズメバチに注意!」上田清会員・「古希の富士登山報告」鈴木達夫会員・「子どもの目」古澤靖雄会員
- 11/2 第149回定例会講話「忍藩と行田の足袋」埼玉浮き城PC元会長渡邊栄一氏
- 12/7 第150回定例会卓話「建築設備と暖房システムの訪欧調査」鈴木達夫会員

◇平成29年(2017年)

- 1/11 第151回定例会講話「イスラム世界との交流を通して得た知見~イスラム世界をチョット覗いて見ませんか?」川崎重工業(株)元海外営業本部長藤井国男氏

◇◇◇ 「卓話」・「講話」のあゆみ(2) ◇◇◇

◇平成 29 年(2017 年)

- 2/1 第 152 定例会講話「災害時の取組みについて～地域福祉活動を通じて～自助・互助・共助・公助」多摩市社会福祉協議会法人管理課係長大久保雅司氏
- 3/1 第 153 回定例会卓話「電気はととても切りにくい」小池博会員
- 4/5 第 154 回定例会ミニ卓話「長寿の秘訣」倉賀野武士・鈴木達夫・山田正司・大澤亘・村上伸茲各会員
- 5/10 第 155 回定例会卓話「多摩の湧水散策」高村弘毅会員
- 6/7 第 156 回定例会卓話「目指せ 10 万人！訪日客招致多摩市大作戦」澤雄二会員

第 14 期 平成 29 年度(2017/7～2018/6)

◇平成 29 年(2017 年)

- 7/5 第 157 回定例会卓話「英文学と釣り」滝川益男会員
- 8/2 第 158 回定例会卓話「イザという時役立つパッキング」滝川道子・藤寄喬子各会員
- 9/6 第 159 回定例会卓話「今思うあの戦争」中村昭夫会員
- 10/4 第 160 回定例会講話「武蔵国一之宮 多摩市一之宮小野神社の歴史と変遷」多摩市文化振興財団学芸員 橋場万里子氏
- 11/1 第 161 回定例会交換卓話「懐かしの映画とその音楽」—グレンミラー物語—東京八王子 PC 立川富美代氏
- 12/6 第 162 回定例会卓話「改正個人情報保護法への対応について」大澤亘会員

◇平成 30 年(2018 年)

- 1/10 第 163 回定例会講話「やさしい相続・遺産の話」三井住友信託銀行多摩桜ヶ丘支店主任中村浩康氏
- 2/7 第 164 回定例会交換卓話「皇室のお姿」東京八王子 PC 竹元正美氏
- 3/7 第 165 回定例会交換卓話「江戸日本橋の歴史」東京日本橋 PC 吉田誠勇氏
- 4/4 第 166 回定例会ミニ卓話「傘寿を迎えて今、思うこと」

秋山正仁・神谷真一・小池博・登坂征一郎・中村昭夫各会員

5/9 第 167 回定例会昼食会「第 15 期の委員会毎の活動方針」懇談

6/6 第 168 定例会放映と懇談NHKBS「東京タイムカプセル」

第 15 期 平成 30 年度(2018/7～2019/6)

◇平成 30 年(2018 年)

- 8/1 第 170 回定例会交換卓話「マッカーサー」横濱プロバス倶楽部 ダニエル T. 山田氏
- 9/5 第 171 回定例会講話「アイデアマラソンの実行を勧める」アイデアマラソン研究所長樋口健夫博士
- 10/3 第 172 回定例会講話「真空の使われ方」真空テクノサポート代表(元東芝メカトロ株)木ノ切恭治氏
- 11/7 第 173 回定例会講話「これが多摩火工廠だ」東京工科大学准教授神子島健博士
- 12/5 第 174 回定例会卓話「私の南アフリカ体験記」小池博会員

◇平成 31 年(2019 年)

- 1/9 第 175 回定例会講話「郵便番号読み取り機の開発」渡辺貞一博士
- 2/6 第 176 回定例会卓話「写真で見る途上国の交通事情と多発するシニアの交通事故対策」所敏行会員
- 3/6 第 177 回定例会卓話「私の転機、化学屋から IT ビジネス起業へ」伊藤健一会員
- 4/3 第 178 回定例会講話「漢方薬の話」小坂薬局社長小坂一郎氏

◇令和元年(2019 年)

- 5/8 第 179 回定例会講話「人生百年時代の到来」経営コンサルタント・公認会計士大橋周治氏
- 6/5 第 180 回定例会昼食会「15 周年記念行事についての感想と反省」懇談

◇◇◇ 「地域奉仕活動」のあゆみ(1) ◇◇◇

地域奉仕は出前授業で「そろばん教室」「礼儀作法教室」「平和教室」などの活動や創作した多摩プロバスかるたの PR などしています。

第 11 期 平成 26 年度(2014/7～2015/6)

◇平成 26 年(2014 年)

- 7/9 多摩市全小中学校長会で「多摩プロバスかるた」山田正司会長・大澤亘会員説明
- 7/17 ニュータウン街づくり専門者会議で「多摩プロバスかるた」山田正司会長他 3 名の会員で説明
- 9/22 多摩市社会福祉協議会地域推進課・ボランティアセンターで「多摩プロバスかるた」説明
- 10/9 多摩市児童青少年課「児童館と学童クラブ」へ「多摩プロバスかるた」の活用依頼と寄贈
- 12/13 東京多摩 RC の第 10 回多摩中学生俳句大会表彰式「東京多摩プロバス賞」5 名に山田正司会長授与

◇平成 27 年(2015 年)

- 1/20 東京多摩 RC 定例会で講話「多摩 NT 建設と多摩プロバスかるた」山田正司会長
- 2/23 そろばん教室 貝取小学校 古澤靖雄会員他
- 3/2 そろばん教室 愛和小学校 古澤靖雄会員他
- 3/3 そろばん教室 連光寺小学校 古澤靖雄会員他
- 3/9・11・12 そろばん教室多摩第二小学校古澤靖雄会員他
- 6/6～7 貝取こぶし館文化祭「多摩プロバスかるた」出展
- 6/26 礼儀作法教室多摩中学校一年生 138 名滝川道子会員

第 12 期 平成 27 年度(2015/7～2016/6)

◇平成 27 年(2015 年)

- 7/20～8/9 唐木田菖蒲館「多摩プロバスかるた」展示
- 8/8 ワールドキャンパス多摩広場の日本文化紹介で菖蒲館にて「多摩プロバスかるた」紹介・かるた取り大会

◇◇◇ 「地域奉仕活動」のあゆみ(2) ◇◇◇

◇平成 27 年(2015 年)

- 9/24 平和教室「多摩地域の戦中・戦後の小学生の状況」多摩第二小学校 6 年生 150 名対象蓮池守一会長
 10/3 NPO 多摩ニュータウン街づくり専門家会議創立 10 周年記念特別展示「多摩プロバスかるた」出展
 10/17~18 菖蒲館文化祭に「多摩プロバスかるた」展示
 10/31~11/1 つむぎ館祭に「多摩プロバスかるた」展示
 12/12 東京多摩 RC 第 11 回多摩中学生俳句大会表彰式「東京多摩プロバス賞」5 名に神谷真一会長授与

◇平成 28 年(2016 年)

- 1/30 多摩ニュータウン学会新年会「多摩プロバスかるた」山田正司会員他 3 名で説明と遊び紹介
 2/24・26 そろばん教室 永山小学校 古澤靖雄会員他
 3/4・7 そろばん教室 多摩第二小学校 4 年生 3 クラス 古澤靖雄会員他
 3/8~10 そろばん教室 多摩第二小学校 3 年生 3 クラス 古澤靖雄会員他
 6/2~7 東京多摩プロバスクラブフェアのパネル展示 京王聖蹟桜ヶ丘 SC5 階連絡ブリッジギャラリー
 6/12 東京多摩プロバスクラブフェア特別イベント開催 「日本伝統文化を体験してみよう」のテーマで「多摩プロバスかるた大会」、☆アルビレオ☆コンサート、椅子席で抹茶一服、講演「江戸しぐさを今に生かす」 関戸公民館 8F 会議室と 7F 市民ロビーで

第 13 期 平成 28 年度(2016/7~2017/6)

◇平成 28 年(2016 年)

- 8/3 ワールドキャンパス多摩で「多摩プロバスかるた」を

- 展示・紹介・かるた取り大会倉賀野武士会長他 10 名
 11/10 礼儀作法教室「江戸しぐさ~思いやり、有難うは奇跡の言葉」多摩中学校一年生 150 名へ滝川道子会員
 12/17 東京多摩 RC 第 12 回多摩中学生俳句大会表彰式 「東京多摩プロバス賞」5 名に倉賀野武士会長授与

◇平成 29 年(2017 年)

- 2/16・23 そろばん教室 連光寺小学校 古澤靖雄会員他
 3/2・3 そろばん教室 瓜生小学校 古澤靖雄会員他
 3/8・15 そろばん教室 聖ヶ丘小学校 古澤靖雄会員他
 3/13・14・16 そろばん教室 多摩第二小学校古澤靖雄会員他

第 14 期 平成 29 年度(2017/7~2018/6)

◇平成 29 年(2017 年)

- 11/24 礼儀作法教室「日本人のマナー江戸しぐさ・作法」多摩中学校一年生 144 名滝川道子会員
 12/16 東京多摩 RC 第 13 回多摩中学生俳句大会表彰式 「東京多摩プロバス賞」5 名に西村政晃会長授与

◇平成 30 年(2018 年)

- 1/18 礼儀作法教室「江戸しぐさ」この指とまれサロン 25 名に滝川道子会員
 3/8・15 そろばん教室 多摩第二小学校 古澤靖雄会員他

第 15 期 平成 30 年度(2018/7~2019/6)

◇平成 30 年(2018 年)

- 10/17 「赤い羽根共同募金」桜ヶ丘駅頭で澤雄二会長他
 12/6 「歳末助け合い共同募金」堀内陽二・滝川益男両会員
 12/15 東京多摩 RC 第 14 回多摩中学生俳句大会表彰式 「東京多摩プロバス賞」5 名に澤雄二会長授与

◇◇◇ 「研修・親睦活動」のあゆみ ◇◇◇

第 11 期 平成 26 年度(2014/7~2015/6)

◇平成 26 年(2014 年)

- 9/17 三鷹の森ジブリ美術館見学と井の頭公園の散策
 11/12 多摩六都科学館プラネタリウムの見学 15 名参加

◇平成 27 年(2015 年)

- 3/31 「屋形船」による隅田川を下るお花見昼食会
 5/28~29 上高地へ 1 泊 2 日の研修・親睦旅行 15 名参加

第 12 期 平成 27 年度(2015/7~2016/6)

◇平成 27 年(2015 年)

- 10/14 鉄道博物館(大宮市)・小江戸川越見学会 16 名参加
 11/20 多摩動物公園散策 16 名参加

◇平成 28 年(2016 年)

- 4/2 お花見茶会 鶴牧西公園の農家風古民家
 4/12 山梨県立リニアセンター・恵林寺大祭へ研修見学会
 5/26~27 九十九里浜へ「サンライズ九十九里」一泊旅行
 6/25 都立桜ヶ丘公園「とんぼ広場」へホテル観賞

第 13 期 平成 28 年度(2016/7~2017/6)

◇平成 29 年(2017 年)

- 1/20 江戸東京博物館「戦国時代展」見学・大相撲 1 月場所 13 日目観戦 23 名参加

- 3/30 お花見会 乞田川沿い歩く「かごの屋」昼食 21 名参加
 6/21~22 鎌倉 PC と交流/鎌倉・湯河原・沼津へ一泊旅行

第 14 期 平成 29 年度(2017/7~2018/6)

◇平成 29 年(2017 年)

- 10/18 葛飾柴又へ研修・親睦旅行 16 名参加

◇平成 30 年(2018 年)

- 6/24 都立桜ヶ丘公園「とんぼ広場」へホテル観賞

第 15 期 平成 30 年度(2018/7~2019/6)

◇平成 30 年(2018 年)

- 8/23 パルテノン多摩「マジックサンドルーム」自動演奏 楽器博物館見学聴講と懇談会 20 名参加

- 9/18 稲城長沼「清玉園」梨狩り・「天安よみうりランド店」中華料理の昼食 14 名参加

◇平成 31 年(2019 年)

- 1/14 午前浜離宮恩賜庭園散策後築地玉寿司本店で昼食 午後 2 グループ別行動で寄席「大古今亭まつり」観賞 と日本科学未来館見学 25 名参加

- 3/28 お花見会「創価大学構内お花見・見学」「なか安」昼食 懇談後「道の駅八王子滝山」「角上魚類日野店」で買い物散策 22 名参加

秋山正仁;私の入会は5年前です。鈴木(達)委員長のもと研修・親睦委員として、屋形船の花見、上高地の一泊研修、二年目にはいきなり委員長となり大相撲春場所の観戦、湯河原温泉にての一泊研修。私のモットーは「楽しくなければプロバスではない」(横浜プロバスクラブの先輩より)。

飯作金彦;入会して6カ月を迎えました。会員の減少はクラブの衰退に、現在ある委員会の中に会員増強を兼ねる委員会を設けたら如何でしょうか?又平均年齢80歳を5年減少させ、女性会員の増強を奨励します。多摩プロバスは良い意味で変化するでしょう。

伊藤健一;入会1年、研修・親睦委員、広報委員として働かせて頂いた。研修・親睦のお花見会ではリーダーを命じられ不安もあったが、関係各位の協力のもと無事終えることができた。自分の卓話も一大事だったが、良い経験となった。プロバスの一員として何か貢献できればと思う。

上田清;プロバスにお世話になって早や15年、沢山の思い出をつくってくれたクラブに感謝するとともに、より一層の発展を願うばかりです。今後は、人材と財源の確保のみならず、全会員の意見を活動に反映できるような提案制度的なものも検討すべきと思います。

大澤亘;この15年のプロバスライフは自分が会社を退職した時には全く想定していなかったものですが、大変充実した時間を過ごすことができ爽りの多いものでした。現存会員の皆さん、入会を勧めてくれた方、会員OB、亡くなられた先輩会員の方々に感謝あるのみです。

神谷真一;15名で発足したプロバスクラブ、最初はどんな事をするのか分からず、会員の色々な人生経験を生かした人柄にひかれ15年を迎えました。最後の青春を大切な時としたいと思います。

北村克彦;新しい時代「令和」、八十路に足を踏み入れた。東京多摩プロバスクラブは16年目に入る。終の住処である多摩で、色々な人と接し、学び、経験していこう。負担をかけず、お役に立てることがあればお手伝いをさせていただきます。

小池博;まるで三題漸。築地—曜変天目—侘助そしてプロバス入会、築地で登坂会員と会食、曜変天目の話題で登坂会員が侘助に小生を勧誘、侘助で同じ団地の大澤会員にお会いする。そして京王デパート回廊プロバス活動展で旧知の稲田会員との出会い、入会を決意という一席です。

澤雄二;厳しい競争社会から解放された私は、残された時間を、会員との親睦と、少しばかりの社会奉仕を楽しむために入会させて頂いた。そこには権力も権威もありません。大事なことは人に対して優しい心で向き合うことです。その心の技をプロバス活動で磨いて行きます。

鈴木達夫;多摩プロバス発足の入会で光陰矢のごとく15周年を迎えた。豊かな人生経験を生かし地域社会に奉仕す

る理念の活動は、皆様の新しい情報でこれからの交流を深めながら、活動の輪を少しでも広げられるよう、微力ながら地域社会への貢献に役立ちたいと考えています。よろしくお願い致します。

鈴木泰弘;10周年記念誌にこう書いた。会社のOB会に偏らず、プロバスの名に相応しいキャリアと若さのある異業種の方々34名余との交流は楽しいクラブ生活になると。それが15周年では25名に減り、しかも70代が1/3となつて、全体の企画、行動力にも陰りが……。どうするか、思案に暮れます。

滝川益男;15周年行事が終わったある日、大阪PCの一先達が語られた—大きな行事はプロバスを感じる機会であり、その労苦は参加者の喜びで報われる。人々との友情を深めるよき機会ともなると。徹して人のために尽くす—今後のプロバスライフの、わが人生の、目標にしていきたいと思います。

滝川道子;私が学んだ装道礼法きもの学院の高等師範科は各方面のプロの方を招いての授業、それは充実した素晴らしいものでした。15年前、プロバスに入会させていただき毎月、会員のプロフェッショナルな卓話に感動いたします。そして、気遣い・思いやり・人の和の大切さを学ばせて頂いております。

登坂征一郎;心置きなくプロバスに参加し15周年を迎えた。傘寿を越えて余命幾許と脳裏の片隅で蠢く。5月のプロバス例会の講話を快く引き受けてくれた高校同期の大橋周治君の「人生百年時代の到来」に感銘。この先20年のあるべき姿に思いを致さねばと……。

所敏行;プロバス在籍中は、皆様方には大変御世話になり、沢山のことを学ばせて頂きました!

有難う御座いました。

永田宗義;10年前の6月入会、充実した卓話や講話に魅力を感じると共に、当初から広報委員としてプロバスニュースの編集、ホームページの更新を引き受け、学びながら更新容易で安価なスタイルにリニューアル、今後も当クラブの情報発信の知的活動を誇りに、感心・感動・感謝の努力を!

藤崎喬子;記念事業に向けての準備会議ではホトホト疲れてしまった。ネガティブ思考で記さねばならないペンはとても重い。そんな状態の私が思い出すのは、とても一人では行けない所に連れて行って頂いたこと、お喋りしながら頂いた美味しい食事だ。研修親睦さんのご努力に感謝です。
堀内陽二;14年程前、滝川会員にお誘い受け入会。間もなく地域奉仕委員会の名ばかりの委員長の時、あたかも裁判員制度が始まる時機に大澤会員の絶大なご尽力で関係各所に連絡ご手配。裁判員制度の勉強会、解説会、講習会等々を実施した思い出の一つ、今よみがえりました。

◇◇◇15周年を迎えて—プロバスと私—(つづき)◇◇◇

増山敏夫;「本当の人生は七十歳から」と言う人がいます。私もそう思います。プロバスの12年間は、お陰様で私の大切な人生の一ページでした。これからもそうありたいと思います。それにしても多くの大切な仲間を失いました。淋しい限りです。

松山洋一;皆さんの優しさに支えられて、少しずつですが会に慣れて来たように思います。「楽しいプロバス」という言葉をよく耳にしますが、プロバスを楽しむため1人1人

皆さんの事をより知りたいなと思っています。よろしくお願い致します。

山田正司;充実した余生を過ごすためには、私にとってプロバスは、かけがえのない存在です。メンバーのほとんどが新たな友であり、皆さんから得られた知見は計り知れず、喜びもまた格別でした。願わくばこの状況が未長く続くことです。これからもよろしくお願い致します。

◇◇◇ ハッピーバースデー ◇◇◇

誕生日を迎えられました!



5月 永田宗義会員



6月 左から北村克彦・滝川益男各会員

永田氏一言; 歳を重ねるにつれ思いやる心を大事にしたい!

北村氏一言; 気持ちが老込まないよう楽しもう。

滝川氏一言; 傘寿を迎えました。後悔なき日々を目指します。

◇◇◇ 東京多摩プロバスクラブソング ◇◇◇

作詞 池田 寛
作曲 中村 昭夫

聖の桜仰ぎつつ 多摩の流れに身を清めて
緑の杜に囲まれた 我が故郷の行く末と
社会奉仕に力をそそぐ
集う我等プロバスクラブ
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

霊峰富士を仰ぎつつ 心の業を磨き合い
豊かな知識身につけて 次の世代の若人の
教え導く糧となる
集う我等プロバスクラブ
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

【お詫びと訂正】

東京多摩プロバスニュース第83号、84号の記事の一部に誤った記載がありました。ご迷惑をおかけした関係各位には深くお詫び申し上げます。謹んで訂正させていただきます。

1. 第83号 7頁 2行目「ご退任」→「ご退位」。
2. 第84号 1頁 中程 「油井重光」→「由井重光」。

◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇

第85号、盛り沢山の号が出来ました。

先ず1頁 会長挨拶は、分かり易く最後にお仲間の御遺志を継承する決意ですと語られています。

今回の橋シリーズの写真は電車見橋との名があるので、電車通過を待つこと暫しで、トンネルも運転席のある車両も入り上出来、自画自賛? 「良かったなあー」と一緒に喜ぶお相手がいれば、待った苦勞がフツ飛ぶのですが、どうだったのでしょうか?

3頁 式典と祝賀会、皆さん熱弁を振ったお姿や和気藹々のパーティ、新緑を背にした全員の写真、キティちゃんのロゴ入りプレゼントをお配りし、無事終了。当日間近な頃、毎日集まった体力、気力、奉仕の精神が大きな華を咲かせました。

5~8頁 会員の思い出が一杯です、記録という作業のありがたさを知りました。

9頁 平成16年5月17日入会と15年のキャリアある9名に、その後優秀な人材が入られ現在総勢26名です。其其、特技話題が豊富で全員主役の会員揃いですが、今後の体調管理が気になります、ご自愛よしに。

令和に入り初めてのホテル観賞が雨で中止、誠に残念でした。が、蘇東坡の詩に「雨奇晴好」と言う一節があります。雨が似合う、あずさい(古名)や、蝸牛、蛙も雨を待っています。昔々ジャズのスタンダード曲に「降っても晴れても」というラブソングがあり、傘をステッキにして踊る映画も思い出されます。又晴れた空を「青空」といみじくも言いあてています。本当に「真っ青」で広々しています。何れにしても、プラス思考で、人生を楽しもうという詩です。

『百尺竿頭に一步を進む』—無門関より出典—

今15周年を過ぎ、これからのプロバスはこの理念を持ち続け、自分の得た経験、技術、思考を次の世代に伝え、長い竿の先の先まで一步一步皆で歩み進みましょー……と思いましたが、もう実行していますね、今更大声上げて恥ずかしい。

とまれ、10頁に亘る記事をここまでお目通し下さりありがとうございました。

(広報委員 阪東熙子記)